

別表第4 施工管理記録様式

施 工 管 理 記 録 様 式

様式－ 1	施工管理図表 表紙
様式－ 2	施工計画表
様式－ 3	出来形管理図
様式－ 4	出来形管理図（整地工用）
様式－ 5	出来形管理図（暗渠排水用）
様式－ 6	出来形管理図（構造物用）
様式－ 7	品質管理図（生コンクリート）
様式－ 8	測定結果一覧表
様式－ 9	スランプ試験一覧表
様式－ 1 0 -1	$\bar{X}-R$ 管理データシート
様式－ 1 0 -2	$\bar{X}-R$ 管理データシート
様式－ 1 1	$\bar{X}-R$ 管理図
様式－ 1 3 -1	二次製品品質管理図（一般製品）
様式－ 1 3 -2	二次製品品質管理図（管製品）
様式－ 1 4	鋼管溶接測定結果一覧表
様式－ 1 5	鋼管溶接塗覆装点検表
様式－ 1 6	管水路ジョイント間隔測定結果一覧表
様式－ 1 7	埋設とう性管たわみ量管理表
様式－ 1 9	杭打ち成績表
様式－ 2 0	塩化物含有量試験
様式－ 2 1	路面の平坦性試験表
様式－ 2 2	ブルーフローリング試験
様式－ 2 3	コンクリート養生温度管理表
様式－ 2 4 -1	$X-R_s-R_m$ 管理データシート
様式－ 2 4 -2	$X-R_s-R_m$ 管理データシートの 2
様式－ 2 5	$X-R_s-R_m$ 管理図
様式－ 1 2（参考）	材料検収簿

年度	事業	地区
	工事	工程管理図表 出来形管理図表 品質管理図表 安全管理資料

受注者

工 種	番号	管 理 項 目	番号	管 理 項 目	番号	管 理 項 目

施 工 計 画 表										監督員	現場責任者	施工管理責任者						
工 種	区 分	数 量	地区名			工事名			受注者			月			月			%
			5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	
																		100
																		90
																		80
																		70
																		60
																		50
																		40
																		30
																		20
																		10
																	0	
全 体		(%)																出来高率
計 画 出 来 高		(%)																
実 績		(%)																
差		(%)																

※現場責任者は主任技術者又は現場代理人とする。

出来形管理図

										監督員	現場代理人又は主任技術者	施工管理責任者
1 工事名			2 工種		3 項目		4 箇所		5 測定者			
データの記録表	測 点											
	距 離											
		設 計 値										
		実 測 値										
		設計値との差										
		設 計 値										
		実 測 値										
		設計値との差										
		設 計 値										
		実 測 値										
		設計値との差										
		設 計 値										
		実 測 値										
		設計値との差										
	出来形管理											
測定年月日												
略図						測定基準	工 種					
							基準高	上 限				
								下 限				
							厚さ	上 限				
下 限												

出来形管理図（暗渠排水用）

監 督 員		現場代理人又は主任技術者		施工管理責任者	
地 区 名		工 事 名		ブロック番号	
＜測定結果一覧表＞		測定者		仮 地 番	
列 番	田面標高 (FS)	＜資材集計表＞			
		排水路高			
		底			
		勾配			
		延長			
		落差			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			
		2			
		1			
		勾配			
		延長			
		落差			
		4			
		3			

出来形管理図（構造物用）

1.地区名		2.工事名	3.工 程	4.項 目	5.箇 所		監 督 員		現場代理人又は 主任技術者		施工管理責任者		
構 造 図					施工月日								
					実測月日								
					測 定 者								
					基準値	基準値	上限						
					高	値	下	限					
					厚	基準値	上	限					
					さ	値	下	限					
					巾	基準値	上	限					
					付	値	下	限					
					帯	基準値	上	限					
構	高	基準値	下	限									
造	さ	値	上	限									
物	長	基準値	下	限									
	さ	値	上	限									
		基準値	下	限									
					表示内容は例であり、 管理する「工種」「項目」を記載すること。								
					注								
					1. 構造図で管理を行ってもよい。 この場合は測定寸法を朱書きする。 2. 上記による場合は管理基準値一覧表 をつける。								
記 事													

測定結果一覧表

工 種

項 目

測定者

監 督 員	現 場 代 理 人 又 は 主 任 技 術 者	施工管理責任者

測 点	設 計 値 A	実 測 値 B	設計値との差 C=B-A	規 格 値 D	規格値との差 E=B-D

〔注〕（イ）出来形の場合はE欄は記入する必要はない。
（ロ）品質の場合は必要と思われる欄のみ記入し、他は空欄とする。

スランプ試験一覧表

工事名:

工 種：

測定者：

監督員	現場代理人又は主任技術者	施工管理責任者

No.

[illegible]

X-R管理データシート(1)

										監督員		現場代理人又は主任技術者		施工管理責任者	
名 称								期 間	自	年 月 日					
品 質 ・ 特 性									至	年 月 日					
測 定 単 位						日 標 準 量									
規格限界	上 限 値					試 料	大 き さ								
	下 限 値						間 隔			測 定 者					
設 計 基 準 値						作 業 機 械 名				作 成 者					

月 日	組の番号	測 定 値					計 Σx	平 均 値 $\bar{x}$	範 囲 R					
		x1	x2	x3	x4	x5								
	1									平均 累 計 小 計				
	2													
	3													
	4													
	5													
	小 計													
	6									平均 累 計 小 計				
	7													
	8													
	9													
	10													
	小 計													
	11									平均 累 計 小 計				
	12													
	13													
	14													
	15													
	16													
	17													
	18													
	19													
	20													
記 事	小 計									n 2 3 4 5				
									d ₂				A ₄	D ₂
									1.13				1.88	3.27
									1.69				1.02	2.57
									2.06				0.73	2.28
								2.33	0.58	2.11				

注) 1.規格限界、設計基準値は設計図書、仕様書に定められた値を記入する。
2.管理限界線の引き直しは、5－5－10－20－20方式による。

(備考) ――― 管理限界計算のための予備データの区間とする。
 ----- 上記の管理限界を適用する区間を示す。

3.21組～40組までは別に新しいデータシートに記入する。以下20組ごとと同様とする。

X-R管理データシート(1)の2

監督員	現場代理人又は主任技術者	施工管理責任者

月 日	組の番号	測 定 値					計 Σx	平 均 値 $\bar{x}$	範 囲 R				
		x1	x2	x3	x4	x5							
										x	R		
										平 均			
										累 計			
	小 計									小 計			
										平 均			
										累 計			
	小 計									小 計			
記 事										n	d ₂	A ₄	D ₂
										2	1.13	1.88	3.27
										3	1.69	1.02	2.57
										4	2.06	0.73	2.28
										5	2.33	0.58	2.11

注) 1.管理限界線の引き直しは、5-5-10-20-20方式による。

(備考) ————— 管理限界計算のための予備データの区間とする。

----- 上記の管理限界を適用する区間を示す。

2.以下最近の20組(平均値 $\bar{x}$ を1個とする)のデータを用い、次の20個に対する管理限界とする。

二次製品品質管理図（一般製品）

監督員										監工管理責任者		No.	
製品名										規格			
工 事 名										納入者名			
番 号	納入月日	検収月日	測定	外 観	重 量 kg	配筋検査	寸 法 検 査					そ の 他 (外観等)	備 考 (製造月日等)
設 計 値													
			実 測 値										
			設計値との差										
			実 測 値										
			設計値との差										
			実 測 値										
			設計値との差										
			実 測 値										
			設計値との差										
			実 測 値										
			設計値との差										
			実 測 値										
			設計値との差										
外観、形状等													
測 定 基 準													
標準ロット数		試験基準											

原則として、100個又はその端数ごとに1個を抽出して検査を行なうこと。

鋼管溶接測定結果一覽表

監 督 員	現場代理人又は主任技術者	施工管理責任者

工事名：

受注者：

工 種 名 :

測定者：

[illegible]

様式 15

鋼管溶接塗覆装点検表

監 督 員	現場代理人又は主任技術者	施工管理責任者

工 事 名 :

受注者：

測定者：

[illegible]

埋設とう性管たわみ量管理表

監督員	現場代理人又は主任技術者	施工管理責任者

工 事 名 :

受注者：

管種（長さ）：

測定者：

[illegible]

たわみ率の計算

$$\Delta X / 2R \times 100 (\%)$$

$$\Delta X = [2R - (D_v + t)] \text{ 又は } [2R - (D_h + t)]$$

2R: 管厚中心直径

t: 管厚

注) 1.マーキング位置における測定値を記入する。

2.測定については「土木工事施工管理基準」 管水路工事 管水路(埋設とう性管)の測定基準による。

3.「矢板引抜き時」の測定値は「管頂埋戻し時」の欄に測定値を記入する。

杭打ち成績表

監督員	現場代理人又は主任技術者	施工管理責任者

工 事 名 :

受 注 者 :

工 種 名 :

測定者：

[illegible]

杭配置図

適用公式名:

設計支持力：

塩化物含有量試験

工 事 名		工 種		監 督 員		現場代理人又は主任技術者		施工管理責任者	
コンクリートの規格		設計基準強度		N/mm ² 、スランプ		cm、粗骨材最大寸法		cm	
骨材の産地		セメントの種類		測定器名		測定者		単位水量	
								kg/m ³	

測定年月日	年 月 日			(平均値) × (単位水量) = (合 否)	
測定番号	1	2	3		平均
測定器の読み					
塩素イオン濃度					%
平均塩化物量					
試験紙添付					

測定年月日	年 月 日			(合 否)
測定番号	1	2	3	
測定器の読み				
塩素イオン濃度				
平均塩化物量	(平均値)	× (単位水量) =		
試験紙添付				

路面の平坦性試験表(標準偏差)

監督員	現場代理人又は主任技術者	施工管理責任者

工 事 名		測 定 車 線	
施 工 地 名		測 定 器 の 種 類	
		測 定 年 月 日	
受 注 者		測 定 者	

標準偏差の計算	$\bar{R} = \frac{R_1 + R_2 + R_3 + \dots + R_n}{n}$ $\sigma = \frac{\bar{R}}{d_2}$	d ₂ の値	
		グループの大きさ	d ₂
		6	2.53
		7	2.70
		8	2.85
		9	2.97
		10	3.08

[illegible]

注) 1.測定値を作成したのち本表で標準偏差を求める。
2.測定方法は「アスファルト舗装要綱」による。

プルーフローリング試験

監 督 員	現場代理人又は主任技術者	施工管理責任者

工 事 名 : _____ 受 注 者 : _____

工 種 名 : _____ 測 定 者 : _____

項 目	事 項				備 考
天 候		測 定 面 の 含 水 状 況			
試 験 区 間	No.	～ No.			
載 荷 車	型 式		接 地 圧		
載 荷 状 況	予定載荷回数	回	本載荷速度	km/h	

試 験 結 果	
視察展開図	No.No.No.No.No.No.No. ○○○○○○○ No.No.No.No.No.No.No. ○○○○○○○
視察記事	
異常個所の処置	

コンクリート養生温度管理表

監督員	現場代理人又は主任技術者	施工管理責任者

工事名

工種	施工箇所	規格
1.打設年月日	打設量	m ³ 養生方法
養生月日	気候	養生温度 (測定時刻)
2月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6
3月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6
4月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6
5月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6
6月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6
7月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6

工種	施工箇所	規格
1.打設年月日	打設量	m ³ 養生方法
養生月日	気候	養生温度 (測定時刻)
2月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6
3月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6
4月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6
5月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6
6月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6
7月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6

養生温度(及び気温)は、毎日時刻を定めて1回以上測定すること。
「施工箇所」には、測点又は施工部分名を記入する。「規格」には、コンクリートの設計基準強度等を記入する。

工種	施工箇所	規格
1.打設年月日	打設量	m ³ 養生方法
養生月日	気候	養生温度 (測定時刻)
2月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6
3月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6
4月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6
5月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6
6月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6
7月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6

工種	施工箇所	規格
1.打設年月日	打設量	m ³ 養生方法
養生月日	気候	養生温度 (測定時刻)
2月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6
3月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6
4月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6
5月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6
6月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6
7月日	最高最低	12 10 8 6 4 2 0 -2 -4 -6

X-Rs-Rm管理データシート

					監督員	現場代理人又は主任技術者	施工管理責任者
名 称		工 事 名		期 間	自	年 月 日	
品 質 ・ 特 性		事 業 所 名			至	年 月 日	
測 定 単 位		日 標 準 量					
規格限界	上 限 値	試 料		大 き さ			
	間 隔					測 定 者	
設 計 基 準 値		作 業 機 械 名		作 成 者			

月 日	試験番号	測 定 値				計 Σ	平 均 値 X̄	移動範囲 Rs	測定値内 の 範 囲 Rm	X±E ₂ ・R s=			
		a	b	c	d					D ₄ ・R̄ s=			
	1									D ₄ ・R̄ m=			
	2												
	3										X	Rs	Rm
	4									平 均	X =	R s=	R m=
	5									累 計			
	小 計									小 計			
	6									X±E ₂ ・R s=			
	7									D ₄ ・R̄ s= D ₄ ・R̄ m=			
	8									平 均	X =	R s=	R m=
	小 計									累 計			
										小 計			
	9									X±E ₂ ・R s=			
	10									D ₄ ・R̄ s=			
	11									D ₄ ・R̄ m=			
	12									平 均	X =	R s=	R m=
	13									累 計			
	小 計									小 計			
	14									X±E ₂ ・R s=			
	15									D ₄ ・R̄ s=			
	16									D ₄ ・R̄ m=			
	17												
	18												
	19									平 均	X =	R s=	R m=
	20									累 計			
	小 計									小 計			
	記 事									n	d ₂	D ₄	E ₂
2										1.13	3.27	2.66	
3										1.69	2.57	1.77	
4										2.06	2.28	1.46	
5										2.33	2.11	1.29	

注) 1.規格限界、設計基準値は設計図書に定められた値を記入する。
2.管理限界線の引き直しは5-3-5-7-10-10-10方式による。

(備考) ----- 管理限界計算のための予備データの区間とする。
----- 上記の管理限界を運用する区間を示す。

3.以下、最近20個(平均値Xを1個とする)のデータを用い、次の10個に対する管理限界とする。

